

SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール
岩手県立水沢高等学校
第14号 2017年11月22日 発行

SSH 特別講義③

平成29年11月14日(火)

2学年普通科文系を対象に、本年度3回目のSSH特別講義を11月14日に実施しました。国立大学の教官3名を迎えて、「経営」、「教育」、「国際」の3分野の講義を同時に行いました。生徒はそれぞれ自分の興味関心や進路希望に合わせて受講し、有意義な講義となりました。

「ネット・ビジネスから考える経営学入門」 山形大学 准教授 西平 直史 先生

〔講義内容〕

経営学に正解はない。数学のように正解があるのであれば、すべての経営者が成功している。普段の生活から新しい情報に敏感でなければ、今後のネット・ビジネスにおいて成功はあり得ない。消費者もまた敏感でなければならぬのである。

〔生徒の感想〕

経営学はとても堅苦しいイメージがあったが、セブンイレブンやアマゾンなどの企業を例にして説明してくれたので、企業の仕組みがよく分かった。経営学は答えのない学問なので、自分でいろいろな発見ができると感じた。



「特別ではない支援教育」 北海道教育大学函館校 准教授 細谷 一博 先生

〔講義内容〕

支援教育は特定の子どもに対して行うものではない。誰もが多かれ少なかれ「生きにくさ」を感じており、そのニーズを把握して、取り除くための仕組みや環境を整備していくかなければならない。

〔生徒の感想〕

限局性障害の人が字を書くときどのような感じなのかを体験した。たった20字書くだけで体全体が痛くなり、ストレスがかかった。この障がいをもつ子は、毎日これ以上の苦痛を受けながら授業を受けていると思うと、心が痛くなつた。少し工夫をすれば彼らが楽になれるなら、私たちはその方法を考える必要があると思った。



「アフリカ人のコミュニケーション —音声言語と手話言語—」 秋田大学 教授 宮本 律子 先生

〔講義内容〕

世界には3千から6千5百の音声言語、2百の視覚言語があり、そのうちアフリカは2千の音声言語を有している。一人3言語が当然になっており、民族・地域・公用語で使い分けている。

〔生徒の感想〕

アフリカという国は、私のイメージとはすごくかけ離れていた。首都の交通網は発達して、高級ホテルが建ち並び、野生動物は決められた区域にしか存在しないなど、予期せぬ真実ばかりだった。新しく学んだことがありすぎて、とても書き切れない。

